

古来より、深き闇夜に
ひっそりと棲まう異形の存在
「淫魔」——女体を嬲り、
貶め、凋落し、快楽地獄の果ての
果てまで追い詰め続ける…、
全ての牝の天敵でありながら
女に悦びの最高潮を与える存在

今宵も、その毒牙に掛かった
哀れな華が一輪
想像以上の地獄——、否
絶頂の極楽浄土へと誘われ
二度と降りて来られぬ、
淫靡の終着点へ連れ去られた
その女の名は「榊 桜花」
——
凄腕の剣技を持つ女侍——
しかし、今宵の相手には全くの
歯が立たぬまま、大量の媚毒を
浴びせられ、気を失ってしまう

だが、そのまま一度と目覚めぬ方が
幸せだったのかも知れない…
此処から体験するのは彼女にとって
人生の終着点であり、最高で最低の
快楽地獄の始まりでしかないのだ…

性華・式

女剣士・牝穴
尻穴淫獄巡り

ぐっ…不覚であった。
「**神桜花**」ともあろう者が
四肢に全く力が入らぬ、
奴らの媚毒効果が…
これ程までに凶悪とは…

忌々しい異形の
愚物共め…

我をこの様な
不様な格好で
縛りおつて…

くっ…
ぬ、抜け出せん!!
このままでは…

—ッ!!く、クソッ…
やはり、こやつ等。
私の胎内に種付けを…
止せッ!!止さぬかッ!!

この我が…、
国一番の剣豪と
呼ばれた我が…
成す術もなく
孕まされるなど
誰が許すか—

それ以上、その
汚らわしい物を
近付けるんじや…

ンああアツ!!

ば...馬鹿なあ♡破瓜の
いつ...痛みでは無く
...なぜ...こんな
こんなああ...♡♡♡

し、尻っ♡尻穴ああっ!!♡
...う、嘘だあああっ!!♡
あああ♡...尻穴も♡ンンっ
女陰もおおおっ♡♡♡!!!

ど...ち...ち...
こんな...に...
き気持ち...いっ♡

ち違っっ...こんなので
こんなモノでえええっ
感じたりいいいいっ♡
あああっ!!そんな
深く潜るなあああっ♡

はああああっ♡♡
子宮口と腸内同時に
ぐりぐりぐりするの
やめええええっ!!!
やめよおおおっ!!!♡



ああああっ♡ま、またっ
二穴にっ…び、媚薬…
流し込んでええ…♡
は、果てるうううっ!!!♡

…お、同じ場所お
ばかり…をお…、
し…、しつこくう
ううううっ♡♡!!

んあああっ♡今度は
乳首までええええっ♡
やめ…止めええええ♡

こ、これ以上…
気持ち良く…う
す、するなああ♡

な…なんだ!?
何か細いものが、
わ、私の内股を…
這いずって—

ま、まさか…待てっ
待つのだっ!!!
…そ、そこはっ!!!
さ、陰核だけは—

んああああ…あ♡
あああああ♡
アアアあっ!?!♡♡

な...何だ?何か
変な音を...そ
そんな...まさか!?

しゃ、射精...!!
ま、待てっ!!今
中に出すのは...
出されては...

ああっ!!!...だ
ダメだっ!!!
もうこれ以上は
無理よおおっ!!!

ポコッ...♡

ポコッ♡

ポコッ!!♡

ポコッ♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

...!!

びん♡

びん♡

びん♡

異形の子種つ
いつぱい出され
ながらあつ!!!

あああつ♡で
出てる中に!!
膣内にいっつ!!!

いつておると...
言つて...えええつ
ええええ♡♡!!!

いっつ♡

ああアツ!!!
ももっつ!!
いつてるっ!!!♡

また、イクらら
うらうらウウウ
うらうらウウウ
うらうらウウウ

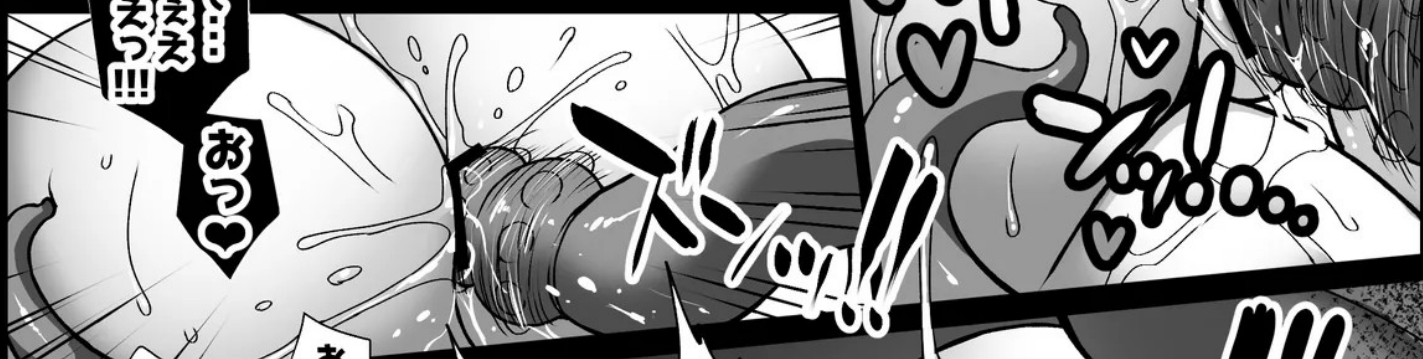
あつ!!!



ま...まて、
...まさか
そんなっ!?
これ以上...
奥まで来る
つもりじゃ...

ま...まて...
待ってええ
えええええ!!!

おっ♡



おっ♡

おっ♡

おっほおおお
おおおっ♡!!!



んあめあめっ♡!!
壊れるっ!!壊れ
りゆうううっ♡!!
私の肉穴ああっ♡

っ、突きっ♡激し...
激し過ぎるっ♡
うううううん!!!♡

いっ、いっ♡
イカされるっ!!
我がまんなので
またイカされる
うううううっ

ド4=4=4!!

幕間 巻 「神桜花の人生」

「たった数刻で、桜花の人生の全てを
色で染め上げ、塗り替えられた気がした

女侍として剣に生きてきた強さなど、
今や何の価値もない。惨めに喘ぎ声を
上げ続ける牝犬が三匹……

己の身体がここまでイヤらしく、淫らで
艶めかしく蠢いている。

あれ程までに忌み嫌い、幾多も屠ってきた
淫魔の手で犯され続けているのに……
自分の意識に反して、身体の反応は実に
正直で誠実で、本物の女の悦びに耽っている

「はあはあはあっ♡おあっ♡イクっ
イクっ♡イクっ♡イクっ♡イクっ♡」

とても武士とは思えぬ言葉を、強者が
発してはならぬ甘い声色で啼いている……
それこそが、今の自分「神桜花」である事を
理解するのに、かなりの時間を要していた

そんな卑猥な折檻を幾度も受けながら、
何時しか桜花の意識は深淵に堕ちていた

んはあああっ♡!!
そ、そんなっ♡また
あああ……っ♡

そ、それ以上……同じ場所を
責める……なあああ……あっ!!?
乳首と陰核、同時にいいいいっ!!?
き、気持ち……良すぎるっ♡♡♡
良すぎるからあああああっ!!!♡
ああっ……う、うそっ!!?また、
また膣内射精来るっ♡!!!

あああっ♡♡
ダメっ!!中は
もう中に出すの
駄目ええええっ♡

やめっ……♡



おーおー…
僕を退治しに来た
愚かな女剣士が
どんなモノか
観に来てやったが

ん…あ…!!

な…なんだ…
コイツ…これ
これはマズイ…

所詮は小娘。
やはり、股を濡らし
尻を震わせるのが
お似合いの牝犬か

み…視られて…
観られるだけで
身体の芯が疼く…

い…今迄に相手した
淫魔などとは比べ物に
ならない程の…魔素と
…邪悪さ…何より…
女を勝る事だけに…

アアア…
はああ…

慰み者にする為だけに
存在する、宝珠の塊…
全ての女の天敵であり
快楽地獄を与え続ける
異形過ぎる化物

うあ…ただめ…
ダメだ…あああ…
あの眼を見るだけで…
し…子宮が…疼いてえ…
我慢出来なくなる…

あああああ
あああああ

僕の淫腕の
絶技をな。

んあっ…!!
な、何して…ええ
ええええええっ!!!

ほう…良いな。
僕を一目見ただけで
本質を悟ったか。

頭より先に貴様の
女陰が反応し、軽く
潮を噴いておる…

あ…ああつ…
あそこが勝手に
反応してえ…

またまたいいっ
うっ…うっ…
うっ…うっ…

良からう、その
慧眼に免じて
貴様に寝美を
くれてやろう

遠慮せずに、
たっぷりと
喰らうが良い

1時間経過

太いのでギョルギョル
しないでっ…♡♡♡
桜花の尻穴、これ以上
穿らないでえええっ♡

ほれほれ、ドンドンと
飲み干していくが良い
僕の触手は幾らでも
存在するからう。

ならば、鷲の玩具と
なる事を認め、
此処で飼われると
誓うか？ んんっ？

そ、それもダメっ♡
ダメよおおおっ♡
そんなの出来ないっ
認められないっ♡♡
イイイっ♡!!

…では解るまで
穿り続けてやろう
農好みの牝肉壺に
仕上がるまでなあ

んなあああっ♡
ま、また中いい
イイイっ♡
おおおっ♡お尻の
お尻の穴あああっ♡
尻穴拡がえっ♡

そ、それも嫌だ
おおおっ♡!!!

んなあああっ!!
ま、またそんな♡…
深い場所おおお
おおおっ!!!♡♡

ほれもっ♡
尻穴を締めねば
何処までも入り
込んで行くぞ

くくっ…
やはり女剣豪と
言えど、所詮は牝
肉壺を突くだけで
簡単に喘ぎおる。



先程から暗く深き闇の底にて

人の女が懸命に喘ぎ喚いでいる

「へああああああつ♡イクっ♡!?
イった逝ったつてばあああつ♡♡」

だからどうしたというのか

牝がイク事など当たり前の事であるが
神桜花を犯しながら、大淫魔はそう思った。

最初に対峙した時は確かに女侍として

剣士としての、強さと輝きを秘めていた。

だが、こうなれば、どれ程の豪の者であろうと、
所詮は只の小娘にしか過ぎぬのだ

。。。だが、此処までやつても、まだ心が壊れる
気配が無いのは中々に重畳であった。

「久々に本気で孕ませてみるのも
。。。有りやも知れぬ」

ふと、大淫魔にそんな考えが発露した。

。。。しかし、それには、少なくとも三日二晩は

この淫獄に耐え、壊れなければだが。。。
。。。そんな悍ましい考えなど知る由もなく
女剣士は雄を欲情させる艶声で啼き続ける。

「んなあああつ♡♡二穴同時につ
射精しちややあああああつ♡♡」



くっ♡来るっ。。。
中出しきちやうっ
んんっ♡射精だめっ
んおあおっ!!?

う…あああ…
ああ…ああ…

ああ…牝穴あ…
…壊れてえ…
壊れちゃうう…

ふむ…先ずは
一段落と言った
ところかのう…

二度に一度は
死なせてしまっ
て荒行に耐えるとは

やり過ぎて、早々に
壊してしまうのは
勿体無い肉穴よ。

では再開と行こう
なあと、次は更に
良くなるように…

媚毒の量も質も
上げてやろう。

小娘よ、まだ
壊れるで
ないぞ？

も、もう許し…ええ…
ああ…あ…あ…
アタシの穴あ…

すっ♡凄いのキタあ
あああああ!!!
ま、待つてッ!!!これ
待つてええええッ。

おおおおおおおつ
オオオオオオつ♡!
んおおおおおつ!!!
おオオオオつ!!!





穴を穿たれる度に
感じる♡感じて
しまっのおおおっ♡

これ以上…女に♡
戻されるのーおっ!!
ダメなG…おっ♡

…このG野郎♡
おっおっおっおっ!!
なっおっおっおっ!!
おっおっおっおっ!!

嫌っ…イヤおっおっ
おっおっおっ!!
おっおっおっ!!
おっおっおっ!!

おアアアアアア
また、来っ…
また、来っ…
また、来っ…!!



ああおっおっ
イクっ…!!

いやや…まさか
これ程の上物とはな。
此処までしても尚
折れぬ心…実に良い

體の本気の真めを
此処まで耐えた
娘は千人も居らん
かったのじゃが…

またイクっ♡
いっ♡いっ♡…
しまっおっおっ♡

イク続ける
のおおおっ♡
おおおおっ!!

「アレ」があったな

さて、次なるは
どの様に弄んで
やろうか
…おっ、そっだ。



おっおっおっ!!
いっ♡いっ♡…
イクイクっ♡!!

イクっはなしに
なっおっおっ!!
うっおっおっ!!
うっおっおっ!!

主に処刑用では
あったが…ごく稀に
コイツにも耐えうる
牝犬も居たのう



……は？

おや？……どうした小娘
まるで生娘が初めて
男子の肉棒を見た様な
怯えた顔をしおって……

処刑用……たど？
こんな大きな
耐えられる筈ない……

心配するな、
最初から全部は
飲み込ませぬわ。
……じゃが、油断すると
大変な事になるのでう
しっかりと肉壺を
絞めるが良いくっ

先ずは一段目の
肉魔羅からじゃ……
これでも生娘には
充分すぎる程の
極太逸物よ

よせ……ホントに
……こんなので
貫かれたら……
……本当にはお
……終わってしまう

さあて……何処まで
耐えるか見物だが……
まだ壊れてくれるな
侍の小娘よ

やっ……止めっ……
止めっ……おあっ！！

グハグハ……

グハグハ……

……お

……お

……お

……お

……お

……お

……お

……お

……お

……お

—アッ…

…アッ…アッ…

んはああアアア
アアアアアア
あああつ!!?♡

う、嘘お…何で…
こんなのでええっ♡
気持ちイイのよお
オオオおおっ♡!!?

子宮潰されるっ♡!!?
ゴリゴリのイホイホが
みっしりと我の中を
埋め尽くし肉壁抉って
来るうううっ♡!!

どっじゃ？己の身体を
肉壁一つで支える死の
恐怖と快感を重ねた
極悪な責め苦の味は？

ふ…深い…
いいいいいい!!?

おお…肉壁が
今までにない程
本気で締め付けて
来てるのう。

油断すると
死が待ってる
文字通りの
地獄の快樂じゃ

だが、それがまた
凶悪に気持ち良い
…そっじゃあうう。

—アッ…アッ…
う、嘘ツマ…ま、また
イクっ♡イカサレのっ
イクっ♡うううっ!!?

んおおおおっ♡!!?
ごりごりごりっ♡
アソコが削られてえ
えええええっ♡!!!

あああああ♡
は、激し〜♡♡♡
激し過ぎる♡♡♡!!

ほれほれ、しっかり
そのイヤらしい
肉穴で僕の極太を
堪能するが良い…
おっと、うっかり
忘れておったな
こっちの穴も
調教再開じゃ



はあああああ♡
アアアあああ♡
ああアアア♡!?
またお尻いいいい
おおおおお♡!!!

いっすれ…僕の
…身体があ…げ、
限界に…んっ♡
乳首だめえっ♡!?

あ…♡

だ…駄目…え♡
流石に…これは
…このまま…で
はあ…ああ♡♡♡

あ♡♡
あ♡♡

はああああ♡
あ♡♡
あ♡♡



ほうれもつと
淫らに尻を振って
悦びを示さぬか

あひっ♡!?

んおおおおおつ!!
イッてるっ♡イッテ
逝ってイキまくるっ♡
止まれっ止まってええ

強者の女子が
下品な喘ぎ声で
嘆く様は美に良い
ほれもっ♡淫らに
啼いてみせい!!

それこの責めも
好きであったなあ
尻穴をこんな風に
振り回すと

お尻の上下に
振るのヤメてえええ
ええええええ!!

尻穴拡がてるっ♡
!!!

ああっ!?す、凄いつ
あ♡あたしの肉壺っ♡
こんなに滅茶苦茶に
されるのにいいいつ

ごいんなの…
最後まで…我慢…
ああ…我慢んっ♡
あっ!?また来るっ♡
はあおおおつ♡!!!

クククっ…尻穴も
随分と馴染んだのう
恥じらい声で快感に
耽る姿も格別じゃ

はあおおおつ♡
そんなっ…またっ
またイキっばなしに
されちゃうっ♡!!!

では
新たな肉奴隷の
誕生祝いに祝砲を
くれてやろう
貴様の膺と尻
両穴へ目掛けて
満タンになるまで
注ぎ続けてやる

んな…っ!?
や、止め…それだけは
止めええ

なかに、礼はお主の
淫らな性の戦慄まで
充分じゃ…さぞかし
良い声で鳴いてくれる
じやろつて……

止め…ヤメヌ
言ってるのっ!!
ああ…また私の
膺内で膨らんでえ
イヤアアああっ!?

では、
篤と味わうが良い
人の限界を超越した
魔の精液の真髄をな。

ま、待てっ…お願い
待ってええええええ
ええええええええ!!

聞けぬわ

んひっ♡!?
ひゃあああああ♡
あああ♡!? イク♡
イク、逝く、いくううう
うううううう♡!!!

こ…これ♡本気っ
本気のおおお♡
♡淫魔の精子い
イイイイイイ♡!!!

んん♡絶対…我々
は♡…孕ませる♡
特濃精液いっ♡
子宮に塗り込まれて
イクううう♡!!!

ああああアア
あああああ♡
み、皆、来るなあ
あああ♡!!!

イク♡イカされ
続けるううう♡
いイキ死ぬっ!?

出る度に♡イクッ!!
イキ続けちゃうう♡
も、もう出さなあ…
出さないでええ♡

…おおお…
まだ出るっ…
出てるううう!?

くっ…此処までしても
未だ壊れぬのは重畳よ。
ならばもっとならば続けて
くれよう…そして他の
牝を釣る餌となるが良い

己の命尽きるのが先か、
新たな貴が釣れるのが
先か…、愉しみじやのう

こ…こんなの♡
死んでしまあ…
…あああ♡!?
イクううう♡!!!

おおおおお♡
イクイクイク♡
あああああ♡!!!
壊れりゆううう♡

奥付 誌名：

性華・弐

——女剣士 牝穴尻穴淫獄巡り——

発行：H・B 代表：B-RIVER 初版：2025/06/30

X(旧twitter)：@biriban

Pixiv: <https://www.pixiv.net/users/11900>

本作品の無断転載(ネット含む)、無断使用(AI学習含む)
及び、未成年の購入、閲覧を禁じます。

女侍「榊 桜花」
元々は武家の娘で
人相手の剣術に長けていたが
ある事件をきっかけに
淫魔と出会い、それを退治した
その後は退魔師の巫女達と
行動を共にし、
用心棒的な存在となる

一人称は「我」「儂」などの
古風な言い回しをしているが
これは女剣士として
舐められぬ様に周りに
振る舞い続けた故の口調で
性的な昂ぶりが極まると
年相応の口調に戻ってしまう

此度の尻穴凌辱に戸惑いを見
せていたが、実は元々、
一人で慰める時にも尻穴を
軽く弄って好む癖があり、
淫魔にはそれを最初から
見破られていた。

甘味ものに目がなく
あまりに美味しい和菓子を
口にした時もつい口調が
戻ってしまう事もしばしば

